

「長野ろうきんSDGs Report」 2025

<社会課題解決に向けたろうきんの取組み>

<ろうきん>では、SDGs達成に向け、2019年3月に『ろうきんSDGs行動指針』を策定しました。ろうきん運動を通じた勤労者の生活向上という使命を追求することで、<ろうきん>に期待される協同組織金融機関としての役割を發揮し、はたらく人を取り巻く様々な社会的課題の解決を図るため、各種取組みを進めています。



ろうきんSDGs行動指針(概要)

- 1 勤労者の生涯にわたる生活向上のサポート
- 2 ろうきん運動やESG投資の実践を通じた「意思あるお金」による社会的好循環の創出
- 3 非営利・協同セクターとの連携強化による社会課題の解決
- 4 SDGsの達成に向けた「共感の輪」の拡大

<「ろうきんSDGs行動指針」に基づく、長野ろうきんの『重点取組項目及び3か年KPI』>

長野ろうきんでは、2025年度3か年事業計画の中期基本戦略に掲げる“会員・お客さま・地域に貢献し続けられるサステナビリティ経営”の実現に向け、SDGs17目標項目のうち、「ろうきんSDGs行動指針」と特に親和性の高い4つの項目を重点取組項目と位置づけています。また、重点取組項目のうち3つの取組施策については、3か年KPI(重要業績評価指標)を設定し、取組みのさらなる促進に努めています。

『貧困をなくそう』

長野ろうきんでは、時代や社会の変化に応じて、はたらく人々が抱える悩みや不安に寄り添い、ライフステージにおける様々な資金ニーズに応える、ろうきんらしい商品・サービスの提供に努めています。

金融セミナー・学習会の実施

会員労働組合と連携し、組合員の皆さまの生涯生活設計のサポートを図るため、資産運用や資産形成、社会保障制度等、金融に関する多岐にわたる内容のセミナー・学習会を実施しています。



3か年KPI設定項目

| | | |
|------|------------|------------------|
| 開催回数 | <3か年KPI> | 1,000回 / 15,000人 |
| 受講者数 | 2025年度上期実績 | 173回 / 3,214人 |

高金利ローンからの借換の取組み

会員労働組合と協働し、他金融機関等の高金利ローンからの借換提案に取り組み、組合員の皆さまの可処分所得向上と多重債務の未然防止に努めています。

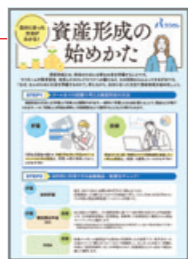


3か年KPI設定項目

| | | |
|------|------------|--------|
| 相談件数 | <3か年KPI> | 1,300件 |
| | 2025年度上期実績 | 238件 |

はたらく人の資産形成支援

人生100年時代の到来を踏まえ、「財形預金」や「iDeCo」、「つみたてNISA」等の制度を活用して、お客さまの生涯にわたるライフプランや資産形成をサポートしています。



| | |
|---------------|-------------------------|
| 財形預金:契約数/預金残高 | 80,966件 / 116,125,768千円 |
| iDeCo:加入者数 | 6,332人 |
| NISA:口座契約数 | 5,764件 |

(2024年度末)

「こども基金」の取組み

各種ローンを利用いただくことで、新規融資取引1件につき100円を長野ろうきんが拠出し、「長野県みらい基金」を通じて県内の子育て支援に取り組む団体へ寄付を行っています。

| | |
|-----------|------------|
| 寄付総額(累計) | 7,351,810円 |
| 2024年度寄付額 | 1,692,950円 |



交付団体の皆さまからメッセージを頂戴しています。左記のQRコードまたはURLからアクセスいただけます。

https://www.nagano-rokin.co.jp/about/kosodate_shien/#mess

* QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

『働きがいも経済成長も』

長野ろうきんでは、労働金庫にふさわしい「組織風土」の確立に向け、職員一人ひとりが健康で安心して働き続けられ、モチベーションの向上に繋がっていく職場環境の整備を進め、ディーセント・ワークと福祉金融機関としての役割發揮によるSDGsの実現に取り組んでいます。

ディーセント・ワークの実践

長野ろうきんは、仕事と子育ての両立支援を積極的に取り組む「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受け、2016年6月に「プラチナくるみん」*を取得しました。

*:「プラチナくるみん」とは、子育てサポート企業として認定を受けた企業のうち、より高い水準で取り組みを行った企業が、一定要件を満たした場合に取得できる特別認定です。

| | |
|-----------------|-------|
| 女性職員の育児休暇取得率 | 100% |
| 男性職員の育児休暇取得率 | 100% |
| 男性職員の配偶者出産休暇取得率 | 100% |
| 職員に占める女性職員の割合 | 45.7% |
| 係長職に占める女性職員の割合 | 30.6% |
| 管理職に占める女性職員の割合 | 3.2% |
| 役員に占める女性の割合 | 5.9% |

(2024年度末)

健康経営推進の取組み

長野ろうきんは、2025年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」の認定及び優良な上位500法人のみに与えられる「ホワイト500」に認定されました。

| | |
|--------------------|-------|
| プレゼンティーズム損失割合平均値*1 | 13.1% |
| アブセンティーズム平均値*2 | 3.30日 |

(2024年度)

*1:何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態。病気やケガがない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価するアンケートを実施して算出。数値が小さいほど生産性が高い。(具体的数値目標:10.0%未満)
*2:病気欠勤、病気で出勤できずに休んでいる状態。過去1年間に自分の病気で何日休んだか問うアンケートを実施して算出。日数が少ないほど生産性が高い。(具体的数値目標:3.0日未満)

『質の高い教育をみんなに』

長野ろうきんでは、社会的・経済的に困難な状況に置かれた方々への支援や、はたらく人々が自立的で安心かつ豊かな生活を送るための金融知識と判断力を高める金融経済教育の推進に取り組んでいます。

金融教育の実践(学生向け金融セミナー/金融授業)

長野ろうきんでは、高校生等への情報提供の機会を創出し、生徒の金融リテラシー向上に資する金融教育に取り組んでいます。現在、地域の学校と連携しながら、家庭科の授業の時間等で、ろうきん職員による「お金の授業」を数多く実施しています。



3か年KPI設定項目

| | | |
|------|------------|---------------|
| 開催回数 | <3か年KPI> | 150回 / 7,000人 |
| 受講者数 | 2025年度上期実績 | 27回 / 937人 |

ろうきん奨学会

ろうきん奨学会は、子育て世帯の支援を目的に設立されました。会員のお子さまに月額3万円を無利子で貸与しており、これまでに支援したお子さまは6,000名を超えています。

| | |
|---------------|-------------|
| 2024年度 新規貸付件数 | 151件 |
| 奨学金総額(累計) | 6,169千円 |
| 貸付件数 | 5,968,080千円 |
| 貸付金額 | |



ろうきん教育ローン

長野ろうきんでは、お子さまの夢を応援するため、低利な教育ローンを取り扱っています。また、奨学金の返済に悩みを抱える方には、教育ローンによるローンの見直し提案を行い、金融面から支援をしています。

| | |
|---------------|--------------|
| <教育資金に関する融資> | |
| 貸付残高(2024年度末) | 12,187,448千円 |
| 2024年度実績 | 873件 |
| 新規貸付件数 | 1,786,362千円 |
| 貸付金額 | |

食料支援の取組み(子ども食堂/フードバンク)

長野ろうきんでは、会員や地域の福祉団体等と連携し、子ども食堂やフードバンクへの食料品等の寄贈による支援活動を積極的に取り組んでいます。



| | |
|------------|--------|
| 2024年度寄付数 | 1,159回 |
| 2024年度寄付重量 | 215kg |

<ろうきん>働く人と子どもの明日を応援プロジェクト

長野ろうきんでは、金融の枠組みだけでは解決しにくい、手が届きにくい社会的課題の解決に向け、地域で主体的に活動に取り組まれているNPOやボランティア団体等への支援を行っています。

| | |
|------------|------------|
| 寄付総額(累計) | 4,000,000円 |
| 2024年度寄付金額 | 3,000,000円 |

運営委員会自主活動の取組み

各営業店では、運営委員会*の企画・運営による地域に根差した活動を実施しています。また、各種活動を通じた収益金等については、地域や様々な団体に寄付を行っています。

*:運営委員会は会員労働組合等から選出された委員により構成され、各営業店における推進活動の中心的役割を担っています。



【福島支店】学童軟式野球大会の開催
【小諸支店】地域のお祭りへの参加

『パートナーシップで目標を達成しよう』

長野ろうきんでは、会員団体とのパートナーシップや、行政・協同組織等とのネットワークを活かして、「共生社会の実現」を目指し、地域が抱える様々な社会課題解決に向けた活動に取り組んでいます。

はたらく人の **想** いと生きる

ろうきんの基本姿勢

ろうきんは

はたらく仲間がつくった
金融機関です。

ろうきんは

営利を目的としない
金融機関です。

ろうきんは

はたらく人目線で考える
金融機関です。

(2025年9月末)

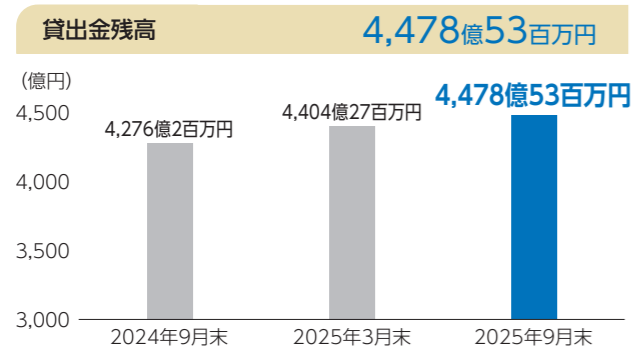
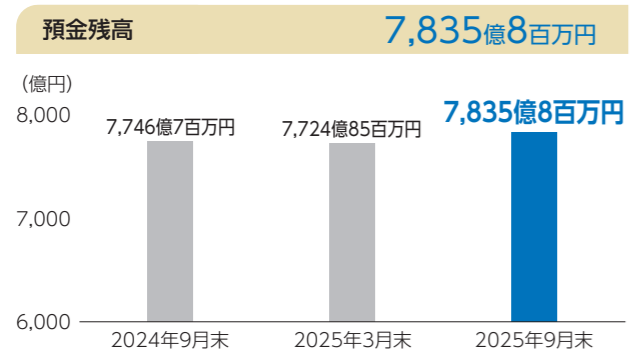
| | |
|--------|----------------------------------|
| 名称 | 長野県労働金庫 登録金融機関 関東財務局長(登金)268号 |
| 本店住所 | 長野県長野市県町523 |
| 電話番号 | (026)237-3700 |
| ホームページ | https://www.nagano-rokin.co.jp/ |
| 創立 | 1951年(昭和26年)12月 |
| 代表者 | 理事長 西澤 忠司 |

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 店舗数 | 20店舗(インターネット長野支店含む) 2出張所・8ローンセンター |
| 常勤役員数 | 388人 |
| 団体会員数 | 1,600会員 |
| 間接構成員数 | 305,694人 |
| 出資金 | 24億23百万円 |

2025年度中間期における財務状況のご報告

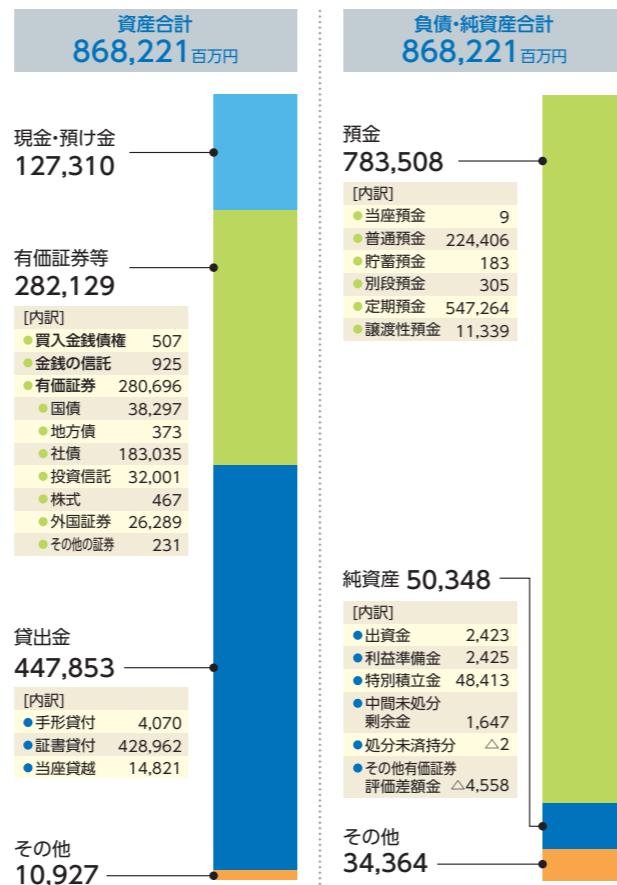
預金・貸出金残高の推移

預金残高は、前年度末比110億23百万円増加し、7,835億8百万円となりました。貸出金残高は、前年度末比74億26百万円増加し、4,478億53百万円となりました。



資産と負債・純資産の状況

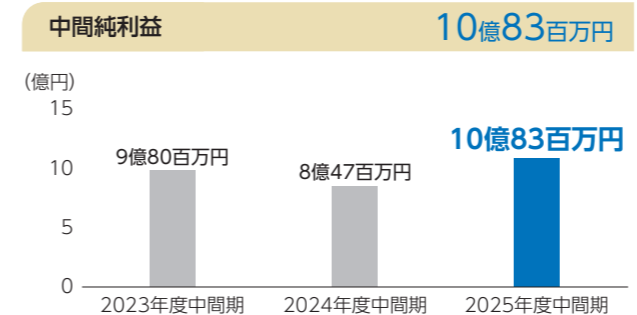
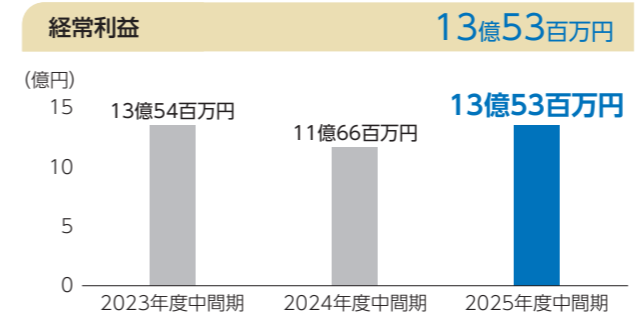
(単位:百万円)



利益の推移

経常利益は、貸出金利息や資金証券運用利息配当金等の増加により、前年同期比1億86百万円増加し13億53百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比2億35百万円増加し10億83百万円となりました。



収益と費用の状況

| | |
|---|---|
| 収益 資金運用収益(貸出金利息など) 50億78百万円 + 役員取引等収益 (受入為替手数料など) 1億50百万円 + その他業務収益(債券売却益など) 3億87百万円 + その他経常収益(株式等売却益など) 1億65百万円 | 費用 資金調達費用(預金利息など) 5億82百万円 + 役員取引等費用 (支払為替手数料など) 7億69百万円 + その他業務費用(債券売却損など) 4億14百万円 + 経費(人件費・物件費など) 26億59百万円 + その他経常費用 3百万円 |
| 経常収益 57億82百万円 | 経常費用 44億28百万円 |
| 1 経常利益 13億53百万円 | →内訳 収益 - 費用 |
| 特別利益 84百万円 | 特別損失 0百万円 |
| 2 税引前中間純利益 14億37百万円 | |
| →内訳 ①経常利益 + 特別利益 - 特別損失 | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2億80百万円 |
| 法人税等調整額 | 72百万円 |
| 法人税等合計 | 3億53百万円 |
| 3 中間純利益 10億83百万円 | |
| →内訳 ②税引前中間純利益 - 法人税等合計 | |

不良債権の状況

不良債権は、何らかの理由により返済が見込めない、または回収が困難な貸出金で、不良債権比率は、貸出金残高に対して不良債権がどれだけあるかを示したものです。長野ろうきんの不良債権比率は、極めて低水準を維持しています。

| 区分 | 2025年3月末 | 2025年9月末 |
|-------------------------------|----------|----------|
| 労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権(A) | 3,476 | 3,604 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 1,100 | 1,034 |
| 危険債権 | 2,308 | 2,427 |
| 要管理債権 | 68 | 144 |
| 三月以上延滞債権 | 68 | 144 |
| 貸出条件緩和債権 | - | - |
| 正常債権 | 437,219 | 444,523 |
| 総与信残高(B) | 440,695 | 448,127 |
| 労働金庫法及び金融再生法ベースの不良債権比率(A)/(B) | 0.78% | 0.80% |

* 単位未満を四捨五入しています。

自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の健全性を示すひとつの基準で、法令で定められた指標です。国内業務のみを行う金融機関は4%以上であることが求められています。

| 項目 | 2025年3月末 | 2025年9月末(概算値) |
|----------------------------|----------|---------------|
| 1.自己資本の構成に関する主な開示事項 | | |
| コア資本に係る基礎項目の額(A) | 53,831 | 54,911 |
| コア資本に係る調整項目の額(B) | 23 | 21 |
| 自己資本の額((A)-(B))(C) | 53,808 | 54,890 |
| リスク・アセット等の額の合計額(D) | 474,840 | 479,785 |
| 自己資本比率((C)/(D)) | 11.33% | 11.44% |
| 2.定量的な開示事項 | | |
| 信用リスクに対する所要自己資本の額 | 18,443 | 18,640 |
| オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額 | 550 | 550 |
| 総所要自己資本額等 | 18,993 | 19,191 |

* 労働金庫は9月期決算を法定されておりませんが、当金庫は内部規程に基づき3月期決算に準じた仮決算を行っております。上記9月期決算の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。